

別紙

第7回特別支援教育実践研究会実践研究発表会（ご案内）

1. 実施目的

特別支援教育実践研究センター将来構想で掲げている「大学と子ども支援リソースによる特別支援教育に関する諸課題の協働的解決システム」構築に向けた事業の一環として、関係者（特別支援教育実践研究センター兼務教員及び協働研究員）が分有している特別支援教育に関する情報の共有と発信を図る。

2. 実施日

平成30年12月16日（日）

3. 実施内容及び場所

特別支援教育実践研究会・全体会 [研修室]

第1グループの発表及び情報交換 [プレールーム]

第2グループの発表及び情報交換 [プレールーム]

閉会

以下のように、センターセミナーが同日開催されます。

13:00-15:00 演題 特別支援教育における主体的・対話的で深い学びとは

講師 広島大学大学院教育学研究科 特別支援教育学講座

教授 川合紀宗先生

4. 発表者

特別支援教育実践研究センター兼務教員

特別支援教育コース大学院生

特別支援教育実践研究会に登録している協働研究員

5. 発表内容・方法

特別支援教育に関わる研究や報告。実践研究。

大学院生では、進行中の実践や臨床授業等に関わる成果報告等も可

ポスター形式による発表

→ 発表者と参加者がお互いに対話型の情報交換を行う。

在席時間は 45 分ずつとし、2 グループに分けて交代で行う。

6. 資料作成

(1) 当日掲示用のポスターの作成について

おおむね 180cm×180cm のスペースに収まるように作成。

→ 大判の用紙 1 枚にまとめてもよい。

パワーポイントのスライド等として数枚～十数枚程度にまとめてもよい。

ポスターは、当日持参する。

(2) 事前提出用の「題目と要旨」の作成について

当日配布資料のため、発表の題目と発表内容を 300～400 字にまとめた要旨を作成。

「題目と要旨」は、12 月 1 日（土）までに担当者（坂口宛）にメールで送付する。

「題目と要旨」は、事前に特別支援教育実践研究センターホームページで公開する。

7. その他

資料作成費等については当方で負担します。

また、不明な点がありましたら下記問合せ先にご連絡ください。

【連 絡 先】

上越教育大学特別支援教育コース

助教 坂口 嘉菜

Phone & FAX 025-521-3675

E-mail kana@juen.ac.jp